

インターネット・イントラネットの教育的利用

小学校全学年・総合的な学習
名古屋市立旭丘小学校 渡辺一弘

ne004m-t@asahigaoka-e.snet.aichi-c.ed.jp

<http://www.snet.aichi-c.ed.jp/asahigaoka-e/>

キーワード 小学校, 校内 LAN, コンピュータ学習, 課題学習, ホームページ, 校内メール

1. はじめに

児童の学習を豊かにする方策を追求する中で、身近な場所にコンピュータを置き、道具として活用し始めたのは3年前のことである。

旭丘小学校は、平成13年1月現在、障害児学級を含めた全学年の教室を始め、24教室60台余のコンピュータで校内LANを構築した。

サーバコンピュータが3台あるが管理者はいない。また、コンピュータ操作に精通した教師がないという素人集団ではあるが、全校児童が毎週インターネットやイントラネットを活用した学習を行っている。

できることから始めてきた本校の実践は、2～3年後にどこの学校でも見られるべき姿であると考えられる。

2. 実践のねらいと方法

コンピュータを身近な道具として使い、情報を集める・まとめる・交流することを中心に、ホームページ作りを中心としたコンピュータ学習と調べ学習を中心とした課題学習の両面から実践研究を行っていく。これによって、自分の意見を自分で調べ、分かりやすく自分の考えをまとめ、それを情報として発信し、評価できる児童を育てたい。

3. コンピュータを身近な道具にする工夫

1) おはようページ

出欠席を管理するソフトである。登下校時に自分の名前をクリックすることにより、全学級の出席状態が把握できる。毎日、コンピュータにふれる機会を持つことをねらいとしている。

2) 常時開放

サーバのあるコンピュータ室以外の普通教室や特別教室のコンピュータを常時開放し、自由にインターネットやイントラネットができるようにした。ただし、システムドライブ保護のためのセキュリティはかけてある。

3) 興味あるソフトウェア

インターネットルームには、ゲーム感覚を採り入れたCDを配置した。本を読むのと同じような環境を整えた。

4) 図書利用

図書管理ソフトを全てのコンピュータにインストールし、図書検索を可能にするとともに、図書室ではバーコードリーダーの操作により1年生でも自分で貸出・返却ができるようにした。

4. コンピュータ学習

1年生から6年生までの13学級と障害児の2学級を合わせた全学級・全児童がホームページを作成し、校内LANにより自由に閲覧できるようにしている。

障害児学級では、児童個々の実態に合わせた学習を展開しているが、普通学級では、年間に最低3種類の個人ホームページを作成することにしている。

写真やイラストに加えて自己をアピールする「自己紹介ページ」、自分が読んだ本の中で気に入った本を紹介する「おすすめの一冊」、年末に作成する「年賀状ページ」は、全学年共通の課題である。そのほかに、各学年が独自に設定した課題でホームページを作成したものも、校内LANで公開している。

コンピュータ学習は、年間学習計画に基づき、毎週1時間程度行っている。

【実践例】

第3学年「夏休みの思い出」4時間完了

「課題の設定」夏休みで出かけた場所の中から、一番思い出に残っているところを選び、紹介する計画を立てる。

「情報の収集」ホームページ作りに必要な写真を集め、説明文を考える。

「情報の整理」イントラパケッツを活用して、図1のようにホームページを作る。

「情報の発信」作成したホームページをイントラパケッツの掲示板に登録する。

「情報の交換」友達の作ったホームページを見て、電子メールで感想を伝え合う。

E スクエア・プロジェクト成果発表会

< 児童が決めたためて >

- ・ オーストラリアの動物をホームページにのせたい。
- ・ 飛行機の好きな弟と行った名古屋空港のことをホームページにまとめた。
- ・ 絵やカードをのせて、ホームページを作りたい。

< 児童の声 >

- ・ 夏休みで一番よかった写真を選ぶと、もう一度行ってみたいくなる。
- ・ かわいい弟のことを伝えられてよかった。
- ・ 作ったとき、ホームページにのっているか心配だった。

5. 課題学習

3年生以上の学年では、「人・自然・社会！ウオッチング」を主テーマに、課題解決学習を週に1時間の割合で総合的な学習として行っている。1・2年生は、生活科の学習の中で関連した部分を取り上げ、学校全体としての年間学習計画を掲げている。

課題の設定、情報の収集、情報の整理、情報の発信、情報の交換という5つの学習段階を踏まえて学習を行い、自ら考え自ら判断したり行動したりする力を育てるようにしている。学習内容によっては、インターネットを活用したり学習成果をホームページにしったりしている。

【実践例】

第5学年「中津川野外学習を伝えよう」6時間完了

「課題の設定」中津川野外学習の準備や生活を振り返り、伝えたいことを決める。

「情報の収集」ホームページ作りに必要なデジカメ写真や道具などを準備し、ホームページ作成の計画を立てる。

「情報の整理」イントラパケッツを活用して、図2のようにホームページを作成する。

「情報の発信」作成したホームページをイントラパケッツの掲示板に登録する。

「情報の交換」よかった点やがんばった点をメールで交換する。

< 児童が決めたためて >

- ・ 4年生の人には楽しい思い出を作ってきてほしいので、中津川野外学習で大変だったことを伝える。
- ・ みんなによくわかるホームページを作る。
- ・ 中津川のことをよくわかるように、アドバイスをたくさん書く。

< 児童の声 >

- ・ 今回のようなホームページは初めてなので、失敗もしたけれど、やっているうちに楽しくなってきました。
- ・ 工夫した点は、説明するところにアドバイスを入れたことです。
- ・ あの楽しかった思い出を4年生の人に知ってもらえるのならば、何時間でも書き続けたいです。

6. まとめ

これまでの実践研究を通して、次のような点が明らかになった。

< 低学年 >

前年度のホームページを閲覧して、自分の課題を決めたりその課題を発表し合ったりすることが必要である。

一人一人の児童が、「どんなことが素晴らしいか」「何ができるようになったか」など自分の想いを表出するという視点で話し合う場を設けることが、主体的に情報を活用する能力を高める上で大切である。

< 中学年 >

自分の課題を決めて、ネットミーティング等の話し合いを通して、自分の課題をより明確にする必要がある。

ホームページを閲覧した感想をメール等を出し合い、広くお互いの意見を交換し、よさを認め合うようにしていくことが大切である。

< 高学年 >

自分の課題を追求する過程で、どのように自分の課題が変わっていったかを記録することが必要である。

調べたことをおたがいに高め合い、人や社会や自然の営みまで関連づけることが大切である。

小学校における情報学習は、情報の効率的な集め方を身に付けたり、分かりやすい情報としてまとめる工夫をしたりすることであると考える。そのためには、各学年の発達段階に応じた指導計画を練り直し、確立していくことが必要である。児童も教師も楽しんで、コンピュータ学習に参加できる環境作りと合わせて今後の課題としていきたい。



飛行機が好きな弟

3年2組

いつ 8/20

どこ なごやくこう

のりもの 車



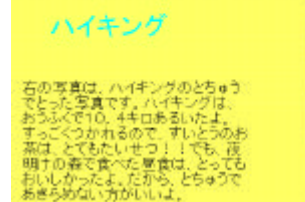
せつめい、私の弟ひょうすけはとても飛行機が大好きなので名古屋空港に行きました。家族で行きました。すごくたのしかったです。

図1 夏休みの思い出のホームページ



カレー作り

右の写真は、カレーを作っている写真です。にんじんは、かたしからちからをいれたほうがおいしい。じゃがいもは、きずいかに洗ってからぬめりをとってから切った方がおいしい。でも、たまねぎはすく目がいいようになるのでちゅういしてきつたほうがいいよ。たまねぎもきつていたひとは、みんな、ないてたよ。



ハイキング

右の写真は、ハイキングのとちゅうでとった写真です。ハイキングは、おふくで10.4キロあるんだよ。すっくつかれるので、すいとうのお高は、とてもたいせつ！でも、夜明けの森で食べた朝食は、とってもおいしかったよ。だから、とちゅうであきらめない方がいいよ。



図2 中津川野外学習のホームページ